

染色・封入

【H-E 染色】

- 1) 切片面を下に向けて、染色液(ヘマトキシリン)に浮かべ、90～120 秒間染色する(図1)。
- 2) 約 5 分間の水洗後、水溶性エオジンで約 10 秒間染色する(図2)。
- 3)) 水道水による水洗後(約 10 秒間)、100%エタノールを切片面に滴下し、粘着剤に付着したエオジンを洗浄除去する(約 10 秒)。
- 4) 直ちに、専用封入剤を切片上とスライドガラス上に滴下する。
注意1: 専用封入剤(下記)の選択は、添付資料を参照する。
 - ・SCMM-G1 (自然乾燥)
 - ・SCMM-R1 (自然乾燥)
 - ・SCMM-R2 (紫外線重合) 鮮明に組織観察でき長期保存できる。
 - ・SCMM-R3 (紫外線重合)
- 5) 約 30 秒間の放置後、切片面を下側に向けて封入剤を塗布したスライドガラスに密着する(図3A)。
- 注意1: 放置時間は、白くなった粘着面が透明になればよい。**
- 6) 余剰の封入剤を濾紙で押し出しながら吸収除去する(図3B)。
- 注意1: 封入剤を除去し過ぎると乾燥中に切片に気泡が現れる場合がある。**
- 7) 余剰の封入剤を濾紙で押し出しながら吸収除去する。
- 8) 切片の放置(一昼夜以上)後、切片はスライドガラスと粘着フィルム間にサンドイッチ状態で保存される(図3D)。
- 9) 切片の放置(一昼夜以上)後、切片はスライドガラスと粘着フィルム間にサンドイッチ状態で保存される(図3D)。

次ページあり



図1 染色(ヘマトキシリン)



図2 染色(水溶性エオジン)



図3 アルコール洗浄

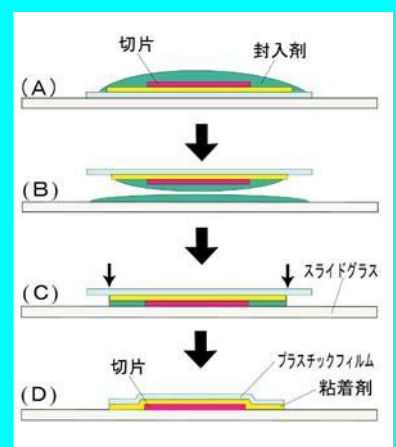


図4 封入手順

永 久 標 本

【SCMM-R1による封入】

- 1) SCMM-R1、R2、か R3(水溶性樹脂)を切片上に滴下する(図1A)。
- 2) 粘着フィルムの切片側を、封入剤を塗布したスライドガラスに密着する(図1B)。

- 3) 余分な封入剤を濾紙で押し出しながら除去し、次いで粘着フィルムの両端を切り取る(図1C)。

注意1: 封入剤を除去し過ぎると、乾燥後に切片中に気泡が現れる場合がある。

- 4) 自然乾燥により封入剤を乾燥する(数日)(図1D)。

注意1: ホットプレート等で急激に乾燥すると、封入剤にクラックが現れる場合がある。

注意2: 染色により染色剤が封入剤中に拡散する場合がある。

- 5) 乾燥後、フィルム面に付着した包埋剤を水洗除去する。

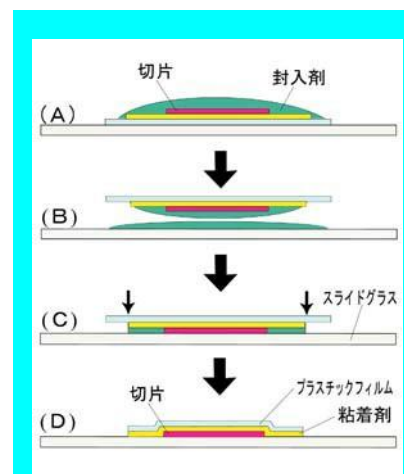


図1 切片の封入手順



図2 封入剤の硬化

【SCMM-R2、R3 による封入】

- 1) 上記と同様の手順で、SCMM-R2 あるいは-R3(水溶性樹脂)で切片を封入する(図1A)。

- 2) 粘着フィルムの密着後、専用重合装置で封入剤を重合する(図2)。

注意1: 染色剤の種類により染色剤が封入剤中に拡散する場合がある。

- 3) 重合後、フィルム面に付着した包埋剤を水洗除去する。